

平成 26 年度

事業報告説明書

公益財団法人 大阪認知症研究会

事業報告説明書

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

1. 助成事業

○事業内容・趣旨：

◇医学研究助成・・・団体及び個人が実施している研究に対して積極的に助成することにより、研究の着実な成果を見だし、認知症の問題・課題の解決を図る。

◇海外派遣助成・・・海外の認知症研究者との研究交流をはかることによって、当該分野における研究レベルの向上を企図する。

○応募期間：

平成 26 年 4 月 15 日～同年 5 月 15 日（消印有効）

○応募資格：

認知症の研究にあっている大阪府域の大学、研究所、医療機関、保健施設等に属している者。但し、弊財団で前年度に助成を受けられた方は応募不可。

○助成対象研究：

- (a) 認知症疾患の臨床的研究
- (b) 認知症疾患の発症危険因子に関する研究
- (c) 認知症疾患の病因に関する研究
- (d) 認知症疾患の病態に関する研究
- (e) 認知症疾患の方の介護、看護技術に関する研究
- (f) 認知症疾患の方の地域ケア、処遇に関する研究

○助成金予算：

◇医学研究助成・・・500 万円 ※件数は特に定めず

◇海外派遣助成・・・40 万円（2 件）

○応募・選考件数（金額）：※詳細は別紙に記載

平成 26 年 6 月 3 日、選考委員による選考の結果、助成対象 5 件を決定、同日理事会で承認。

	医学研究	海外派遣	合 計
予 算	500 万円	40 万円	540 万円
応募件数	9 件	0 件	9 件
選考件数（金額）	5 件（540 万円）	0 件	5 件（540 万円）

○助成金贈呈：

平成 26 年 7 月 15 日、助成金贈呈式を実施（於 千里阪急ホテル）

2. 普及啓発事業

認知症講演会開催

○開催日時：

平成 27 年 3 月 15 日（日）午後 2 時～5 時

○実施場所：

千里ライフサイエンスセンター5 階ライフホール

○対象者並びに参加費：

一般府民、参加費無料

○講演内容：

座 長・・・武田 雅俊 氏（大阪大学大学院 教授）

講演 1・・・「認知症の病態と鑑別」

大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室 准教授 田中 稔久 氏

講演 2・・・「認知症の薬物療法とこれからの薬剤」

大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室 講師 大河内 正康 氏

講演 3・・・「認知症患者さんを地域で見守るために」

大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室 講師 数井 裕光 氏

○当日参加人数：

379 名（申込受付 462 名 ⇒ 参加率 82%）

○本事業への寄付金：

製薬会社 6 社 合計 605,000 円

（イーライリリー、ヤンセンファーマ、小野薬品、大日本住友製薬、エーザイ、ファイザー）

○当日参考資料として当財団作成の小冊子「いきいきと暮らせる長寿社会へ」無償配布

以上

医学研究助成の部

助成対象者氏名	年齢	所属機関	助成金額 (万円)	研究課題
大河内 正康	49	大阪大学大学院 医学系研究科精神医学教室	170	A β 42 産生抑制薬 (γ セクレターゼ修飾薬) は iPS 技術によるアルツハイマー病患者由来神経細胞でも効果を発揮するか?
坂井 麻里子	45	大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究科	100	意味性認知症とアルツハイマー型認知症における味覚機能の比較
吉村 匡史	43	関西医科大学 精神神経科学教室	80	脳波センサを用いた認知症患者およびその介護者の睡眠指標の評価
武田 景敏	38	大阪市立大学大学院 老年内科学	100	幻覚を有する認知症患者における黒質線条体ドパミン神経の変性と認知機能障害との関連
釜江 和恵	42	公益財団法人浅香山病院 認知症疾患医療センター	90	重度の行動心理学的兆候 (BPSD) による入院患者のクリニカルパスの検証、及び入院が遷延する要因分析に関する研究
助成対象者 合計 5 件			540	

海外派遣助成の部

今回なし